

Date:2014/9/2

生きた現場を見て感激！ — 富山県立大学の建設系学生が利賀ダム現場を見学 —



8月28日(木)、富山県立大学環境工学科の伊藤研究室メンバーが、実際の現場で学ぶために利賀ダムを訪れました。

伊藤研究室は、コンクリート工学を学ばれており、今回、「利賀ダム下島大橋上部工工事」の施工現場、昨年完成した利賀湖面橋、ダムサイトを主に見学してもらいました。

「利賀ダム下島大橋上部工工事」の施工現場では、実際に工事を行っている建設会社の技術者から、PC橋梁の構造的特徴や張出し工法の説明、ワーゲン(移動作業車)内に入ったPCの緊張方法、ワーゲンの移動方法などの説明、ワーゲンの移動方法などの説明を受けるとともに、施工中の箱桁の中やPC鋼材なども直接見てもらいました。



下島大橋(ワーゲン内)

開口部は横断しない!

建設会社の技術者から施工中のPC橋梁の説明



ワーゲン

施工中の下島大橋(張出し工法)

Date:2014/9/2

また、利賀ダム職員からは、下島大橋を含めた付替市道や工事用道路の計画、利賀湖面橋の環境面・コスト縮減の工夫、ダムサイトにおいては、「利賀ダム事業計画」やダム本体の試掘横抗による地質調査方法などの説明をさせていただきました。

参加された先生や学生からは、「初めて見るものが多く、さまざまな話を聞くことができ良かった」、「施工者と違う視点での説明が貴重な経験になった」、「こういった機会が多ければ、自分の進路を考える上で役に立つと思った」、「PCの現場を間近で見たのが初めてで、大変興味深かった」、「勉強になることが多かったが、想像できないことも多かったので分かりやすい工夫をして欲しい」など、多くの意見を頂きました。

利賀ダム工事事務所では、色々な方々の意見をお聞きしながら、利賀ダムの現場を今後、建設界を担っていく人たちの教育の場としても有効に活用されるよう、工夫をしていこうと思います。



利賀ダム建設事業計画の説明



地質調査方法等の説明